見守いあいさつ顔なじみ

第一中学校区学校運営協議会 発行

文責:徳永哲郎(地域学校コーディネーター)



2023. 7. 20 No.60

夏の「見守りあいさつ大作戦」(7/10~14)

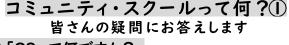
今回, 境高校が一中校区の「夏の見守りあいさつ大作戦」 に合わせて「あいさつ運動」をされました。期間中、豪雨 による臨時休校もありましたが,生徒会執行部員が学校横 の交差点に立ち、登校する生徒に声をかけました。

境高校CSは令和2年度に発足,地域と連携して学校教 育を進めておられます。今回の連携は同じCSの縁で実現 し、のぼりも3本立てて頂きました。土台のビニルパイプ

にはそれぞれ「見守りあいさつ大作戦」と手 書きされていて、身の引き締まる思いでした。

このほか、地域各所でのぼりを立てて子ど もたちに声をかけて下さる姿がありました。

これからも**「地域みんなが顔なじみになっ** て,一中校区の子どもたちを育てよう」をめあて 真剣さがここに! に、粘り強く取り組んでいきましょう。



急「CSって何ですか?」

「学校運営協議会」(学運協)が置かれた学校を, コミュニ ティ・スクール(CS)と言います。学運協は校長の学校経 営方針を承認し、学校運営に対する意見を教育委員会ま たは校長に、教職員の任用に関して教育委員会に意見を 述べることができます。

▲「なぜCSが始まったのですか?」

社会の急激な変化に伴い, 学校と地域が連携を密にし て課題を解決する必要が叫ばれるようになり,平成29年 法律で学運協の設置が努力義務となりました。複数校で 密接な連携を図る必要がある場合(小中一貫教育など) は一緒に設置することもでき、境港市はこの方式です。

3年ぶりに全校児童集会(6/20,境小)

境小で久しぶりに全校児童集会が開かれました。3年ぶ りの開催でしたが、子どもたちは今年できた児童会「イベ ント委員会」のリードで、ゲームなどを楽しみました。

全校児童集会は、学年の違う子どもたちがふれあい、個 性を発揮したり互いのよさを見つけたりする大切な場面。 今回は「コロナでできなかった体験をぜひ!」という先生 方の思いを受けて、3月まで大山青年の家職員だった市教 委生涯学習課の角康徳さんに伝え、イベント委員会の子ど もたちに事前指導して頂きました。

「今はまだ不慣れですが,体験することで前 🎤 進していきたいです」(担当:安達和哉先 生)これからも応援していきます!

「裁縫の第一歩」でボランティア大活躍!

境小・上道小の5年家庭科「ソーイング・はじめの一 歩」で、ボランティアのべ約40名が活躍しました。学 習のねらいは玉結び・玉止め・なみぬい・返しぬい等の技 能を身につけること。初めて針と糸を持つ子が多く,正 しく安全にできるよう目配りが必要で,皆さんの存在は 頼もしい限りでした。「学習が進むにつれて、子どもたちか ら『楽しい』という声が出てきました。」(境小:森山章二先生)

ちなみに 6/20 上道小5年A組は児童21人に教師・ ボランティア計5人で、大人一人あたり児童4.2人。一 方,30年前筆者は一人で42人を指導したので,目配 り度は今回の10分の1! 申し訳ない限りです。

左 上道小5年A組(6/20) 💘 右 境小5年竹組は地域1名 保護者4名が参加(6/26)





「願いを込めて」七夕飾りづくり(7/4.上道小)

特別支援学級の学習の一環として,七夕飾りづくりが行 われました。この日の休憩時間は、地域ボランティアの足 立のり子さんと松下眞一郎さんが下さったササが教室前 廊下に立てられ,交流学級の子どもたちも来て「25m泳 げるように」「みんなと仲良くできるように」と願い事を 書いていました。ササは保育園にも届けられたそうです。

互いに認め合い共に生きていく子ど | 117 もたちが育つことは一中校区みんなの 願い。ササの願い事がかなうように「顔 なじみ」になっていきたいですね。



「一中校区タウン誌」を書く学習(7/5.一中2年)

「郷土のよさを伝えよう」という国 語の学習がありました。一中校区の おすすめスポットを選び、タブレッ トで情報を集めて文章にまとめる学 習で,選ばれたスポットには「隠れ家 アドバイスを書いて交換 的喫茶店」「オーナーが子ども好きな 駄菓子屋」と興味をそそるものも。

完成後はお店や公共施設に置いて 多くの人に「地元の宝」を知ってもら うなんていかがでしょうか。



